

平成30年第3回定例会一般質問要旨

◎山内議員

1. 農地の地力向上に係る町の対策について

①農業は町の根幹であると思いますが、本年は天候不順により作物の育成不良が見られます。

このようなときこそ農地の地力が必要になることから、その向上は最重要な課題と考えます。

そこで今まで町は土地改良など地力の向上に対し、どのような取り組みを行って来たのか伺います。

②農地の地力向上には、今後も継続的な取り組みをしていかなければならないと考えますが、他に堆肥の有効、高度な活用など新たな対策は考えているのか伺います。

2. 水道料金の算定方法の改善について

現在の料金算定方式は上限3栓方式を取っており、「基本料金×何栓+超過分」となっております。

これは営農用に限って言えば1栓内の使用量しかないにもかかわらず、営農施設の都合上3栓を使用しているような小規模利用者は3栓分の基本料金を徴収されてしまう一方で、5、6栓使用しているような大規模利用者は3栓分の基本料金しか徴収されておらず、3栓以上の分は単価の高い超過料金として徴収されてしまい、利用者間で不公平感が生じています。

この現状に対して町として改善する考えがあるか伺います。

平成30年第3回定例会一般質問要旨

◎但木議員

1. 災害時の情報伝達について

6日未明に起きた地震により全道全域が停電するなど、全く考えもしない事態となりました。

多くの方がこの停電により情報が得られず、不安を感じながら過ごしたのではないかと思います。

災害の際に貴重な情報源となるラジオの電波が悪い地域もありますが、これからはラジオの電波の確保や、町民に情報を伝える情報伝達網のようなものも考える必要があると考えますが、町の考えをお伺いいたします。

2. 子供の遊び場の整備について

町には公園の他にかつてはアスレチックやじゃぶじゃぶ池など、屋外で遊ぶことができる場がありました。

しかし公園の砂場のように、衛生上の問題や劣化により遊ぶことが出来なくなったなど、屋外での遊び場も少なくなってきました。

このようなことから、これからは木の砂場のような室内でも遊ぶことができる場があっても良いのではないかと考えますが、町の考えをお伺いします。

平成30年第3回定例会一般質問要旨

◎高橋議員

1. 町の施設（工作物など）の安全性について

今年6月18日に大阪地区で発生した大地震では、大阪市内の小学校のブロック塀が倒壊し、登校中の児童が犠牲になるという痛ましい事故があり、その後の調査でこのブロック塀は、必要な構造基準を満たしていないことが判明、その後すぐに政府から全国の通学路にあるブロック塀の点検要請がありました。

町では、建築物及び橋梁などは、耐震診断を行い、現在の基準に満たないものについては耐震補強を行うなどし、必要な構造を満たすべく進めてきていますが、ブロック塀のような工作物あるいは建物ではない施設などの安全性についてどのような考えをお持ちなのかという思いから、以下に質問します。

①町が所有・管理しているブロック塀は、どのくらい存在し、それらのこれまでの経緯、現在の状況・点検の結果、今後の対策などについてどのような考えをお持ちなのか伺います。

②門扉・フェンス、学校などにある自転車置場、公園の四阿（あずまや）・樹木など、倒壊すると人命に係わるような工作物の現在の状況、今後の対策などについてどのような考えをお持ちなのか伺います。

③学校や公園などにある遊具など、使用している最中に破損・故障などすると身に危険を及ぼすような施設について、現在の状況、今後の対策などについてどのような考えをお持ちなのか伺います。

④個人所有の工作物などで、ブロック塀に関わらず倒壊などすると人命に係わるようなものが発見された場合、町としての対応、今後の対策などについてどのような考えをお持ちなのか伺います。